

---

# 早稲田大学大学院商学研究科

## 博士後期課程 入学試験要項

### 前期／後期

(2026年9月／2027年4月／2027年9月入学)

---

#### 目次

1. 出願	p.3
(1) 募集人員	p.3
(2) 出願資格	p.3
(3) 出願日程	p.4
(4) 入学検定料	p.4
(5) 入学検定料返還および免除制度	p.5
(6) 出願書類作成上の注意	p.6
(7) 出願書類一覧	p.6
(8) 受験票	p.9
(9) 日本での在留資格を有さない者の出願	p.9
2. 入学試験	p.10
(1) 試験日程	p.10
(2) 選考方法	p.10
3. 入学手続	p.11
(1) 入学手続締切日	p.11
(2) 入学手続書類	p.11
(3) 留学ビザ	p.12
(4) 入学金・学費・諸会費	p.12
(5) 奨学金制度	p.12
4. 受験上の注意事項	p.13

この「入学試験要項」では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス、ワイヤレスイヤホン等（Bluetooth、Wi-Fi、データ通信等、日時・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器）をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

#### <個人情報の取扱いについて>

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

## 早稲田大学大学院商学研究科の方針(ポリシー)

### 1. 学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

早稲田大学の総合性や伝統を生かし、多様な学問の知識を教授することにより、グローバル化する社会において主体的に貢献できる人材を育成する。とくに商学とその関連領域についての高度にして専門的な学術の理論及び応用についての研究と教授を行い、その深奥を究めることによって、広い視野と的確な判断力を備えたリーダーとなるべき学生の教育に努める。

修士課程においては、専門分野に関して、精深な学識を受け、研究者または高度専門職業人に必要な能力を養成する。

博士後期課程においては、自立した研究者として研究活動を行うために必要となる能力と学識を備えた学生を育成する。

上述をふまえ、商学研究科では、各課程の修了時に身につけておくべき能力を以下のように定める。

#### 【修士課程】

学修成果 1：自らの専門領域に関する専門知識および分析技法を修得している。

学修成果 2：研究を進めるにあたって必要なコミュニケーション能力を有している。

学修成果 3：専門領域における内外の学術研究を理解している。

学修成果 4：独自性のある研究を実施できる。

#### 【博士課程】

学修成果 1：自らの専門分野に関する極めて深い知識と高度な分析能力を備えている。

学修成果 2：国内外の研究者と研究上必要なコミュニケーションがとれ、自らの研究成果を適切に発信できる。

学修成果 3：専門領域における内外の学術研究を踏まえて、自らの研究を遂行できる。

学修成果 4：自立した研究者に期待される高いレベルの研究を実施できる。

### 2. 教育課程の編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本研究科では、経営管理（経営専修、マーケティング・国際ビジネス専修、金融・保険専修）、会計（会計専修）、産業・経済（理論・計量専修、公共政策・経済史専修）の3コース6専修を置き、それぞれのコースまたは専修を中心としながらも、広く商学全般について研究、教授を行う。

修士課程における講義科目は、学生が多角的な研究方法を学ぶとともに、専門分野に関する基礎から応用までの知識を獲得することにより、修士論文作成のための土台を形成できるように構成される。

演習科目は、講義科目よりも専門的な教材を使用し、修士論文作成のための研究テーマ設定、研究方法の習得を可能とするように構成される。また、教員と学生および学生同士の議論を通して、研究に関する知的スキルを錬磨する場としての役割も担う。

研究指導においては、学生が選択した研究テーマに関して、教員から個別の指導・助言を与えらるとともに、学生同士の議論を通して、より論理的かつ説得力のある研究成果をまとめ上げる場を提供する。

博士後期課程における演習科目は、学位論文作成のための研究テーマ設定、研究方法の習得を可能とするように構成される。また、教員と学生および学生同士の議論を通して、研究に関する知的スキルを錬磨する場としての役割も担う。

研究指導においては、学生が選択した研究テーマに関して、教員から個別の指導・助言を与えらるとともに、学生同士の議論を通して、より論理的かつ説得力のある研究成果をまとめ上げる場を提供する。また、学生に、指導教員の研究指導に基づき、十分な時間を割いて学位論文の完成に専念することを求める。

### 3. 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

本研究科では、高度専門職業人あるいは、高度な研究活動を自立的に行う研究者を育成するために、研究を遂行するうえで必要な高い基礎学力を備え、知的好奇心が旺盛で、本学の理念である進取の精神に富む勉学意欲の高い学生を、わが国をはじめ世界各国から迎え入れる。

このような理念のもとで、修士課程入学者の資質については、商学分野に関する学士相当の基礎知識および研究能力を有しているとともに修士学位論文作成に向けた問題意識および、研究に真摯に取り組む姿勢があることが求められる。博士後期課程入学者の資質については、商学分野に関する修士相当の専門的知識および自立した研究者を目指すために必要となる研究能力を有しているとともに博士学位論文作成に向けた問題意識および研究に真摯に取り組む姿勢があることが求められる。

上記の方針に基づき、以下の入試による選抜を行う。

【修士課程】

一般入試では、学士学位に相当する商学に関する基礎知識および研究能力を有し、自ら課題を発見したうえで調査・分析を行い一定の結論を導き出すことができる学生を世界各国から受け入れる。そのため、専攻分野に関する記述式の筆記試験および面接審査を基に総合的に評価する。

推薦入試では、本学商学部生および本学他学部生を対象に、修士学位論文作成に向けた問題意識、研究に真摯に取り組む姿勢を持つ学生を受け入れる。そのため、研究計画書を含む書類審査および面接審査を基に総合的に評価する。

特別推薦入試では、本学商学部の卒業生を対象に、実務経験等から得られる修士学位論文作成に向けた問題意識、研究に真摯に取り組む姿勢を持つ人材を受け入れる。そのため、研究計画書を含む書類審査および面接審査を基に総合的に評価する。

【博士後期課程】

一般入試では、専門領域における内外の学術研究を理解したうえで、独自性のある研究を実施できるようになるために必要な研究能力を有する学生を世界各国から受け入れる。そのため、修士学位論文および研究計画書を含む書類審査と面接審査を基に、自らの専門領域に関する修士相当の知識および研究能力、研究を進めるにあたって必要なコミュニケーション能力を総合的に評価する。

## 1.出願

### (1) 募集人員

40 名

### (2) 出願資格

下記の①～⑤のいずれかを満たす者。

- ① 修士または修士(専門職)もしくは法務博士(専門職)の学位を得た者、または本研究科入学までに修得見込みの者
- ② 外国において修士もしくは修士(専門職)の学位またはこれに相当する学位を得た者、または本研究科入学までに修得見込みの者
- ③ 文部科学大臣の指定した者
- ④ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または本研究科入学までに修得見込みの者
- ⑤ 上記①～④に該当しない者で、本研究科において、個別の入学資格審査により、修士または修士(専門職)もしくは法務博士(専門職)の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

\*出願期間初日から遡って **2年以内**に実施された **TOEFL iBT 73 点以上、TOEIC700 点以上、IELTS (アカデミックモジュール) 6.0 以上**のいずれかのスコアを有していることが出願条件です。ただし、英語による学士号または修士号を取得し、そのことが卒業証明書または大学からの公式なレター等で確認できる場合は、語学能力証明書(英語)の提出は免除とします。

\*上記③の詳細は、以下のウェブサイトをご確認ください。該当者の一覧をご確認いただけます。

[URL] [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shikaku/07111317.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111317.htm)

\*上記④または⑤に該当するかどうかについては、出願前に本研究科事務所にお問い合わせください。

\*本研究科博士後期課程は通学制かつ全日制です。夜間に科目は設置していません。研究指導等の時間割は平日(1限～6限:8時50分～20時35分)および土曜日(1限～5限:8時50分～18時40分)といずれも昼間の時間帯に編成しています。

※本学(学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。)の教員は、本学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規程上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所事務所を通じて本部にお問い合わせください。

### (3) 出願日程

入学検定料の支払いと出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。

**出願手続のすべてが期日中に完了しない限り、出願を受け付けません。**

前期入試と後期入試の併願は可能ですが、**出願書類等はすべて再度提出が必須**です。

	前期	後期
入学検定料支払い期間	2026年4月1日(水)～4月8日(水)	2026年11月9日(月)～11月16日(月)
出願書類提出期間	2026年4月1日(水)～4月8日(水) 23:59 (JST)	2026年11月9日(月)～11月16日(月) 23:59 (JST)
第一次試験(書類選考) 合格者発表	2026年6月25日(木)	2027年1月21日(木)
第二次試験(口述)	2026年7月4日(土)	2027年1月30日(土)
最終合格者発表	2026年7月9日(木)	2027年2月4日(木)
入学手続	4月入学	2027年2月12日(金)
締切日	9月入学	2026年8月17日(月)
		2027年2月12日(金)
		2027年8月16日(月) 予定

\* 入学時期は、出願時に選択(併願不可)してください。出願後の入学時期変更は認めません。

\* PC等のデバイスやネットワークの不調により出願期間内に申請が完了しなかった場合も、本学では一切責任を負いません。

### (4) 入学検定料

以下の①から③のいずれかの方法で、支払い期間中に必ず入学検定料を納入してください。国内からの出願の場合は30,000円、国外からの出願の場合は15,000円となります。

ただし、本学商学大学院に属する研究科(商学研究科・会計研究科・経営管理研究科)の修士課程または専門職学位課程を、2026年9月入学の場合は2026年9月に、2027年4月入学の場合は2027年3月に修了見込みの方が受験する場合、入学検定料は不要です。

また、本学商学大学院に属する研究科(上記)の修了者が修了と同時に引き続き次年度に会計研究科・経営管理研究科の一般科目等履修生となり、その後引き続き、本研究科の博士後期課程に入学を志願する場合(ただし、修士課程または専門職学位課程入学後4年以内に入学を志願する場合に限る)も入学検定料は不要です。【別紙7】参照

#### ① コンビニエンスストアでの支払いの場合(【別紙3】参照)

- ・ 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ・ コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話等によりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/>)にアクセスして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- ・ 決済完了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分をPDF化し、オンライン出願システム(TAO)にアップロードしてください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。(納入最終日は「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までとなります)
- ・ 家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。

#### ② クレジットカード・中国オンライン決済による支払いの場合(【別紙4】を参照)

- ・ クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払

いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>) にアクセスして所定申込手続を完了させる必要があります。

- ・ 英語版の URL は上記とは異なりますのでご注意ください。(<https://e-shiharai.net/ecard/>)
- ・ 支払い終了後、決済完了が表示された Web ページを PDF 化し、オンライン出願システム (TAO) にアップロードしてください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24 時間いつでも可能です (納入最終日は、日本時間 23:00 までにカード決済を完了させてください)。
- ・ 支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

### ③外国送金での支払の場合

- ・ 下記の要領に従い、金融機関より送金してください。現地金融機関において別途手数料がかかる場合は、下記金額とは別に窓口で支払って下さい。
- ・ 「外国送金依頼書」のコピーを PDF 化し、オンライン出願システム (TAO) にアップロードしてください。

#### <海外送金要領>

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金金額	16,000 円 (入学検定料 + 円為替手数料 1,000 円) 現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で 手続時にお支払いください。
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
連絡事項	志願者本人の英字氏名 (Applicant's Name in English) 氏名の前に "35" を必ず記入してください。
送金先銀行名	三菱 UFJ 銀行 (MUFG Bank, Ltd.)
支店名	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号	普通預金 0035967FHL 口座番号欄には数字 7 文字とアルファベット 3 文字を記入してください。
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 3-7 (3-7, Kagurazaka Shinjuku-ku Tokyo, Japan)
スウィフトコード	BOTKJPJT

### (5) 入学検定料返還および免除制度

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

- ・ 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。
- ・ 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- ・ 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

以下のケースに該当する場合は、入学検定料が免除になる場合があります。

- ・経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が発行する、「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する者は、【別紙 6】「検定料免除措置申請書」から「特定国からの志願者に対する入学検定料免除措置制度」を参照し、必要書類を提出してください。
- ・本研究科への入学後に国費外国人留学生となる可能性がある者は、出願前に留学センター（in-cie@list.waseda.jp）までご相談ください。

## (6) 出願書類作成上の注意

- ① 出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。
- ② 出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また、本学から連絡があった時はすみやかにその指示に従ってください。
- ③ 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

## (7) 出願書類一覧

出願および書類提出は、The Admission Office (TAO) から提出（一部直送手配）を行ってください。TAO については、【別紙 1、2】を参照してください。所定書式は、本研究科 Web サイトよりダウンロードできます。

提出物	対象	注意事項
顔写真（縦 4：横 3）	全員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真（タテ 4：ヨコ 3 の比率・上半身・正面・無帽・無背景・枠なし）をアップロードしてください。なお後述のとおり、入学手続時には出願時と同じ写真のデータ版をアップロードすることとなりますので、カラー写真データは大切に保管しておいてください。</li> <li>2. マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、お問合せください。</li> <li>3. 顔写真は、試験当日の本人確認として使用しますので、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。</li> <li>4. 顔写真には加工・修正を施さないでください。</li> <li>5. スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真（スピード写真可）で撮影してください。</li> <li>6. 入学手続時に学生証用の写真を別途アップロードすることとなりますが、その際は出願時と同じ写真を使用してください。なお入学手続時にアップロードした写真は学生証のほか、学内諸手続における本人確認および学内の各種 Web サービス等に本人情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>提出書類の偽造・虚偽（顔写真の加工・修正等）が判明した場合、不正行為認定の対象となります。</p> </div>
入学検定料収納証明書	全員	・入学検定料免除対象者は該当書類をアップロード
語学能力証明書(英語)	該当者	・TOEFL ( <b>iBT:73 点以上</b> )、TOEIC ( <b>700 点以上</b> )、IELTS アカデミックモジュール ( <b>6.0 以上</b> ) いずれかを提出。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願期間初日より遡って<b>2年以内</b>に受験したものの<b>のみ有効</b>。</li> <li>・英語による学士号または修士号を取得し、そのことが卒業証明書または大学からの公式なレター等で確認できる場合は、語学能力証明書（英語）の提出を免除とする。</li> </ul> <p>【TOEFL iBT】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・My Best scores は採用しない。</li> <li>・公式サイト (<a href="https://www.ets.org/">https://www.ets.org/</a>) より直送手配。 Code:4800 (Department Code の指定はありません)</li> </ul> <p>【TOEIC】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル公式認定証の PDF ファイルを TAO に提出。(会員ページのスクリーンショットは不可)</li> <li>・海外受験など、デジタル公式認定証が発行されない場合は、認定証を PDF ファイルで TAO に提出。</li> </ul> <p>【IELTS (アカデミックモジュール)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式サイト (<a href="https://www.ielts.org/">https://www.ielts.org/</a>) より直送手配。</li> </ul>
語学能力証明書(日本語)	該当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語での研究指導を希望する方で、日本で学士または修士号を取得していない方<b>のみ</b>提出。</li> <li>・「日本語能力試験 N1 (旧試験では 1 級)」または「日本留学試験 (記述を除いた合計 260 点以上)」を必須とする。</li> </ul>
各種証明書 ※P.8-9 参照	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>日本語</b>または<b>英語</b>で発行されたもの。発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書と併せて提出。</li> <li>・学歴に記載した全ての大学 (<b>学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む</b>) の各証明書を提出。</li> </ul> <p>【中国の大学出身者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>卒業 (見込) 証明書、学位取得 (見込) 証明書、成績証明書、Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate 全て。</b></li> </ul>
博士論文研究計画書 ※所定書式	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語 4,000 文字程度、または英語 1,000 語程度(A4 横書き)。</li> </ul>
評価書 ※所定書式	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 通以上提出。</li> <li>・指導教員に相当する立場にあった人物による評価もしくは自分自身で作成した評価書。</li> </ul>
修士論文 またはそれに相当する論文	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の項目を明記してください。</li> <li>① 修士論文タイトル (副題はなくても可)</li> <li>② 学位取得 (予定) 年月日</li> <li>③ 提出者氏名および指導教員名</li> <li>・日本語または英語で記載されたもの。</li> <li>・修士論文が 2 本以上ある場合は、いずれか 1 本のみ提出。</li> </ul>
修士論文概要書	該当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>出願時に修士論文が未完成 (所属研究科へ未提出) の方のみ</b>。</li> <li>・まず出願期間中に修士論文概要書 1 部を提出。</li> <li>・その後、以下の期日までに現時点の修士論文 1 部を (gsc-ad@list.waseda.jp) までメール送付。</li> </ul>

		<b>前期：2026年5月15日（金）</b> <b>後期：2027年1月7日（木）</b>
研究業績リスト(※所定書式) および現物	希望者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文以外の研究業績がある場合、<b>3点まで</b>提出可。</li> <li>・研究業績の現物は写しでも可。</li> <li>・研究業績が日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、概要を記載した翻訳文(日本語または英語)を添付。</li> </ul>
留学にかかる経費負担計画書 ※所定書式	外国籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍の方で、日本の大学を卒業・修了していない方のみ提出。</li> <li>・本学に留学する間の総費用をどのように負担するのかについて記入。</li> </ul>
パスポート	外国籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔写真掲載ページを提出。</li> <li>＊ない場合、現地 ID（＋英語翻訳）のコピーを提出</li> </ul>
在留カード両面 または住民票の写し	外国籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出願時に在留資格を有している方のみ提出。</li> <li>・住民票は在留資格、在留期限の記載があるものを提出。</li> <li>・マイナンバーの記載された住民票は提出しないこと。</li> </ul>

本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、【本入学試験要項巻末のお問い合わせ先】までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。  
<https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/>

志望動機やエッセイ、研究計画書等は、本研究科に自分自身について説明する機会となりますので、ご自身で作成してください。生成 AI を使用してこれらの書類を作成し、自分で書いたものとして提出した場合、不正行為とみなされる可能性や、選考上の評価に影響を及ぼす可能性があります。

出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。不正行為と認められた場合、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

## 各種証明書

証明書の種類	注意事項
卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学歴に記載した全ての大学（<b>学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む</b>）の各証明書を提出。</li> <li>・入学・卒業（見込）年月も記載されていること。</li> <li>・大学印が押印されていること。</li> </ul> <p><b>【中国の大学出身者】</b> 卒業証明書に卒業番号も記載されていること。記載がない場合は、卒業番号の記載がある卒業証書を追加提出すること。 専科も提出必須。</p>
Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate	<p><b>【中国の大学出身者のみ提出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学歴に記載した全ての大学（<b>学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む</b>）の Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate を <b>原本直送</b> ※CSSD(<a href="https://www.chsi.com.cn/en/pvr/">https://www.chsi.com.cn/en/pvr/</a>)より、商学研究科事務所 (<a href="mailto:gsc-ad@list.waseda.jp">gsc-ad@list.waseda.jp</a>) ヘメールで直送されるよう手配してください。</li> </ul>

学位取得（見込） 証明書	<p><b>【中国の大学出身者のみ提出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学歴に記載した全ての大学（<b>学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む</b>）の各証明書を提出。</li> </ul>
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学歴に記載した全ての大学（<b>学士課程、修士課程、ダブルディグリー、専科、編入学含む</b>）の各証明書を提出。</li> <li>・複数ページに渡る場合、すべてのページに学校印が押印されていること。</li> <li>・在学中のすべての成績が記入されていること。</li> <li>・留学をしていた場合は、留学先の成績証明書も提出すること。ただし、本属校の成績証明書に留学先の成績が記載されている場合は提出不要。</li> </ul> <p><b>【中国の大学出身者】</b> 専科の場合も提出必須。</p>
修了証明書または在籍証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去、大学に非正規生として在籍していた場合は修了証明書を提出</li> <li>・現在、大学に非正規生として在籍している場合は在籍証明書を提出</li> <li>・例えば早稲田大学の場合、一般科目等履修生、日本語教育研究センター、各学部・研究科の交換留学など</li> </ul>

### （８）受験票

出願受付後、出願が受理された志願者に対し、試験日の２週間前までに受験票を発送します。試験日１週間前になっても受験票が届かない場合は、本研究科事務所までお問合せください。

**受験票は入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。**

### （９）日本での在留資格を有さない者の出願

日本での在留資格（ビザ）を有さない出願者の場合、前期入試を受験した場合 2027 年 4 月入学、後期入試を受験した場合 2027 年 9 月入学となります。国外からの出願であっても、日本のビザを保有する出願者はこの限りではありません。

	前期	後期
ビザ 有	2026 年 9 月入学	2027 年 4 月入学
ビザ 無	2027 年 4 月入学	2027 年 9 月入学

## 2.入学試験

### (1)選考日程

	前期	後期	試験/発表時間	会場
第一次試験 (書類選考) 合格発表	2026年6月25日(木)	2027年1月21日(木)	10:00	本研究科 Web サイト
第二次試験 (口述)	2026年7月4日(土)	2027年1月30日(土)	10:00	オンライン
最終合格発表	2026年7月9日(木)	2027年2月4日(木)	10:00	本研究科 Web サイト

\*本研究科Webサイト: <https://www.waseda.jp/fcom/gsc/>

### (2)選考方法

#### 1. 第一次試験 (書類選考)

#### 2. 第二次試験 (口述) ※第一次試験 (書類選考) 合格者のみ受験可能

##### ① 概要

- ・ 一次試験合格者を対象に、Web 会議システム (以下、Zoom) にて実施します。試験当日に本学へ来校する必要はありません。
- ・ 集合時間・面接開始時間(JST)などの詳細は、一次試験合格者にのみ、出願時に入力されたメールアドレス宛てにお知らせします。
- ・ Zoom の利用にあたっては志願者自身に利用設備環境の準備を行っていただきます。必ず以下②注意事項に掲げる環境が確保できることを確認してください。また、Zoom の利用にあたって生ずる必要経費は志願者の自己負担とします。
- ・ 本学は試験中のデータを選考に活用するため、録音、録画、撮影のいずれかを行います。
- ・ 受験者による録音、録画、撮影は禁止します。

##### ② 注意事項

##### ・ インターネット接続環境

安定したインターネット回線をご用意ください。回線の安定性の観点からケーブルを使用した有線 LAN システムの利用をお奨めします。

##### ・ 音声、映像機材

Web カメラ、マイク、イヤホン、スピーカー等を準備してください。パソコン等に内蔵されているものを利用いただいてもかまいません。なお、パソコンの利用を推奨しますが、スマートフォンやタブレット端末を利用してもかまいません。事前に Zoom のテストミーティング (<http://zoom.us/test>) に参加し、音声・映像の確認をしてください。

##### ・ 利用場所・面接時間

上記の環境が整えられ、周りに第三者のいない静寂な環境を保つことのできる場所を確保してください。試験開始時間は本学にて指定いたします。個別のご要望には応じかねますので、予めご了承ください。

##### ・ 当日のトラブル対応、注意事項

接続が切れてしまう等の不測の事態により試験の実施が困難と判断される場合、入学志願票に記載の連絡先に本学から電話やメールにて連絡します。連絡内容を確認し、その指示に従ってください。連絡がつかない場合や指示に従わない場合は、当該志願者を試験放棄とみなすことがあります。その場合においても、入学検定料は返還いたしません。試験中に離席した場合、試験放棄とみなすことがあります。以下の注意事項を守らない場合は、不正行為とみなすことがあります。

##### ・ Zoom に関する注意事項

- Zoom の映像と音声は常に「オン」にし、常に画面に顔全体が映るようにしてください。
- 試験で使用している機器以外の通信機器は使用しないでください。また、試験で使用している機器で情報を検索したり、Zoom 以外のアプリケーションやツールを使用したりしないでください。
- Zoom のバーチャル背景機能は使用しないでください。
- 周りに第三者がいないことの確認のために、試験の前後及び試験中、カメラを動かして部屋全体を映すことを求めることがあります。

その場合は指示に従ってください。

- 試験中はマスクを外してください。
- Zoom の操作方法はサイト（Zoom サポート：<https://support.zoom.us/hc/ja>）をご確認ください。

### 3. 入学手続

入学手続きは所定の期間内に、入学手続料（登録料\*・第一期分の学費・諸会費）の納入と入学手続書類提出の両方を完了することにより完了します。

\*「登録料」は、入学者に限り「入学金」に振り替えます。

#### （1）入学手続締切日

入学時期	入学手続料支払い締切	入学手続書類提出締切 (必着)	入学手続書類送付期
2026年9月	2026年7月17日(金)	2026年8月17日(月)	合格者発表と同時
2027年4月	・前期試験合格者： 2026年12月4日(金) ・後期試験合格者： 2027年2月12日(金)	2027年2月12日(金)	・前期試験合格者： 10月に入学手続料の案内、 1月末に二次手続き案内 ・後期試験合格者： 合格者発表と同時
2027年9月	2027年7月16日(金)	2027年8月16日(月) 予定	6月に入学手続料案内、 7月末に二次手続き案内

#### （2）入学手続書類

- ① 学費等振込領収書のコピー
- ② 住民票の写し
- ③ 卒業証明書、成績証明書（学歴に記載した全ての大学）**原本**
- ④ 修了証明書または在籍証明書（大学に非正規生として在籍していた場合のみ）**原本**
- ⑤ TOEIC の認定証（出願時にデジタル公式認定証を提出しなかった場合のみ）**原本**

【中国の大学出身者のみ提出】

- ・学位取得証明書（学歴に記載した全ての大学）**原本**

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学院入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学院入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

一度提出した書類および納入した登録料、学費・諸会費は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費（第一期分）のみ返還の対象となります。

また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、先に入学手続を行った研究科に納入した入学金、学費・諸会費を入学希望研究科の費用に振り替え、入学研究科を変更することができます（ただし、入学手続期間が重ならない研究科間に限ります）。

手続方法等の詳細は、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

### (3) 留学ビザ

入学後の留学ビザ手続き、必要書類等の詳細については【別紙5】「在留資格「留学」の取得について」をご参照ください。出願時に入学時以降まで有効な在留資格を有していても、個々の事情により、入学後の在留資格の更新・変更が許可されない場合があります（現在保持している在留資格の根拠となる活動を、正当な理由なく継続して3ヶ月以上行っていない場合など）。入学後の在留資格更新・変更の取得については、本学は一切保証できません。必ず入国管理局に確認し、各自の責任において出願してください。

フィリピン/ベトナム/インドネシア/ネパール/ミャンマー/中国の国籍を有する志願者は、在留資格認定証明書（COE）の申請時に、通常の申請書類に加えて、結核を発病していないことを証明する「結核非発病証明書」の提出を求められます。国によって適用開始時期が異なりますので、対象国の国籍を有する方は、以下の資料で詳細を必ずご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/news/40765>

### (4) 入学金・学費・諸会費

<2026年9月入学>

単位（円）

年度	納入期	入学金	学費		諸会費			合計
			授業料	学会費	学友会費		学生健康増進互助会費	
				会費	入会金	会費		
初年度	入学時	200,000	224,000	1,000	1,000	1,250	1,500	428,750
	(秋学期)							
	春学期		224,000	1,000		1,250	1,500	227,750
	計	200,000	448,000	2,000	1,000	2,500	3,000	<b>656,500</b>
2年度	秋学期		324,000	1,000		1,250	1,500	327,750
	春学期		324,000	1,000		1,250	1,500	327,750
	計		648,000	2,000		2,500	3,000	<b>655,500</b>
3年度	秋学期		324,000	1,000		1,250	1,500	327,750
	春学期		324,000	1,000		1,250	1,500	327,750
	計		648,000	2,000		2,500	3,000	<b>655,500</b>

\*2027年度以降の学費・諸会費は改定となることがあります。

\*2027年4月以降の学費については本研究科 Web サイトをご参照ください。

\*本学の学部、本学大学院または専攻科の在学、卒業、修了または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。また、本研究科修士課程修了生の学友会入会金は免除となります。詳細については、合格者に送付される「入学手続きの手引き」をご参照ください。

### (5) 奨学金制度

詳細については、入学手続きの手引きとともに送付する「奨学金情報 Challenge」等を参照してください。なお、外国人留学生の方は奨学金制度が異なりますので、以下のウェブサイトより留学センターの情報を参照してください。

[URL] <https://www.waseda.jp/inst/cie/life/aid>

## 4. 受験上の注意事項

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう適切な受験環境の保持に努めています。本学入学試験の受験に際しては、以下に定める注意事項を熟読のうえ、真摯な態度で試験に臨んでください。

1. 本学に提出した書類・資料、提供した情報（以下、「本学提出書類等」といいます。）等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。
2. 次のことをすると不正行為となります。
  - ①カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、答えを教わる、身体・物品・机等にメモをする、メモを見るなど）。
  - ②試験時間中に、答えを教える等他の受験者を利するような行為をすること。
  - ③試験時間中に電子機器等の音（着信・アラーム・振動音等）を鳴らすこと。
  - ④試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - ⑤試験場において監督員等の指示に従わないこと。
  - ⑥受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
  - ⑦その他、試験の公平性・公正性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみなします。
  - ・監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
  - ・別室または別席での受験を求めること。
  - ・本提出書類等につき、その真正性等を確認するために、本学が発行元・提供元または論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとす。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとります。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
  - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消の対象とします。

大学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍（出身）大学・保護者等への報告を行う場合があります。

### ◆不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

### <受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合>

障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本研究科までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問合せください。

## 早稲田大学大学院商学研究科（入試係）

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1  
早稲田大学大学院商学研究科（早稲田キャンパス 11 号館 3 階）  
TEL 03-3202-4369（お問合せ時間：月～金 9 時～17 時）  
E-mail gsc-ad@list.waseda.jp FAX 03-5273-4371  
<https://www.waseda.jp/fcom/gsc/>

